

資料4

◆大学カリキュラムの連続講座の開設

平成28年1月現在

		H27実績		カリキュラム	H27年度	H28年度
富山県立大学	前期 (1年生)	1回目	6月19日	地域の物語	富山河国(総論)	立山砂防(総論)
		2回目	6月26日	個別事業	富山河国(道路)	富山河国(河川)
		3回目	7月3日	個別事業	伏木富山(港湾)	立山砂防(砂防)
		現場見学	7月10日		富山河国・伏木富山	立山砂防(カルデラ)
	後期 (2年生)	1回目	11月6日		黒部河川(総合土砂)	利賀ダム工事
		現場見学	11月23日	11月迄(降雪期前)	黒部河川(総合土砂)	利賀ダム工事
		第2回目	1月29日		黒部河川(総合土砂)	利賀ダム工事

H28年度の開催時期・実施内容は学校側と今後調整

富山大学	H28年度以降、調整
------	------------

◆建設系高校における講座の開設等

		H27実績		カリキュラム	H27年度	H28年度
富山工業	1年生	2学期	9月8日	現場見学 (埋立浚渫協会共催)	伏木富山港湾	伏木富山港湾
	2年生	2学期	12月11日	座学 (インフラの歴史と役割)	伏木富山港湾	伏木富山港湾
	2年生	2学期	9月25日	現場見学 (建設業協会主催)	富山市・富山県・富山河国	建設業協会(事務所連携)
	1~3年生	夏期	8月4~6日	現場見学 (SABO体験学校)	立山砂防	立山砂防
桜井高校	1年生	2学期	10月27日	現場見学 (宇奈月ダム見学)	黒部河川	黒部河川
	2年生	2~3学期	9月28日	現場見学 (海岸工事)	黒部河川	黒部河川
	2年生	3学期	2月16日	講座	黒部河川	黒部河川
	3年生	1学期	5月29日	現場見学 (建設業協会主催)	富山県・黒部河川	建設業協会(事務所連携)
		1学期	6月19日	講座 (砂防工事について)	黒部・立山砂防	黒部・立山砂防
1~3年生	夏期	8月4~6日	現場見学 (SABO体験学校)	立山砂防	立山砂防	
高岡工芸	2年生	2学期	10月2日	現場見学 (建設業協会主催)	高岡市・富山県・富山河国	建設業協会(事務所連携)
	3年生	1学期	7月2日	現場見学	富山河国	富山河国
南砺福野	1年生	1学期	7月10日	現場見学	利賀ダム工事	利賀ダム工事
	2年生	1学期	7月10日	現場見学	利賀ダム工事	利賀ダム工事
	1・3年生	2学期	10月20日	現場見学 (建設業協会主催)	富山県・伏木富山・富山河国	建設業協会(事務所連携)

H28年度の開催時期・実施内容は代表事務所と学校側で今後調整

代表事務所(協力事務所) 県立大学:富山河国(立山砂防)
 県立工業:伏木富山(立山砂防)
 桜井高校:黒部河川(立山砂防)
 高岡工芸:富山河国
 南砺福野:利賀ダム

平成28年度の活動予定（※自由様式）

事務所名：黒部河川事務所

1. 桜井高校のH28年度活動に対する意見（H28.1.7 土木科稲垣科長に確認）
平成27年度に実施した活動すべてを平成28年度も継続実施して欲しい。
2. 建設業協会入善支部のH28年度活動に対する意見（H28.1.15 嘉義事務局長に確認）
平成28年度も共催の立場で協力していく。
3. 黒部河川事務所のH28年度活動について
 - ①桜井高校並びに建設業協会入善支部のご理解を頂いたことから、平成27年度に実施した活動内容すべてについて平成28年度も継続実施する。
 - ②実施にあたっては、今年度の内容を検証し、より充実した内容で取り組むようにしたい。
 - ③新規の活動内容はない。

※平成28年度取組予定（案）：別紙のとおり

【様式ー1】

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 平成28年度 個別取組予定(案)

学校名	事務所	黒部河川事務所		担当課	調査課	担当者	伏木 裕二
		担当教官	学科				
	学部		土木科	科長	稲垣 利治	0765-52-0120	inagaki-toshiharu@tym.ed.jp
対象	時期	実施内容	場所	支援・連携状況(機関、業団体等)			
3学年	5月下旬～6月上旬	現場見学(土木工事の施工法、目的が理解できる現場)	未定	富山県建設業協会 富山河川国道事務所			
2学年	9～11月	現場見学(土木工事の必要性や社会に及ぼす影響が理解できる現場)	海岸工事	富山県建設業協会入善支部			
1学年	9～11月	現場見学(土木に対する興味を持たせる現場)	宇奈月ダム	富山県建設業協会入善支部			
2学年	7月末～8月初旬	インターンシップ	—				
部活土木部	8月	現地見学(身近な土木施設を学ぶ)	事務所管内				
2学年	3学期(1月～2月)	講座(90分、土木について) ※民間と公務員の仕事の違い	学校	富山県建設業協会入善支部			
1学年～3学年	8月	現場見学(SABO体験築校)2泊3日:5名程度	立山カルデラ内	立山砂防事務所			
3学年	6月	講座(110分、砂防について)	学校	立山砂防事務所			

平成28年度の活動予定（※自由様式）

事務所名：利賀ダム工事事務所

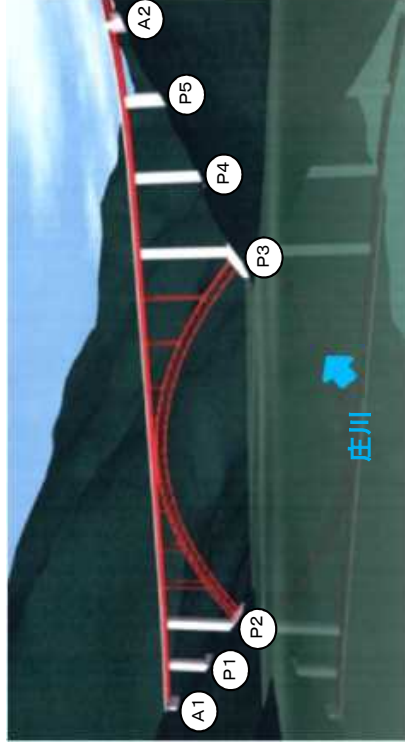
- ・平成28年度は大規模橋梁の上部工架設の最盛期になり、それらの現場見学や現地においてダム事業の説明を中心に活動する。
- ・なお、大規模橋梁の平成28年度の主な施工内容は、アーチ部の架設（庄川橋梁は4～6月、豆谷橋梁は7～11月）となります。現場見学のご希望がございましたら、タイミングを逃さずにお越しいただきたい。

※現時点の予定工程等は別添資料のとおりです。

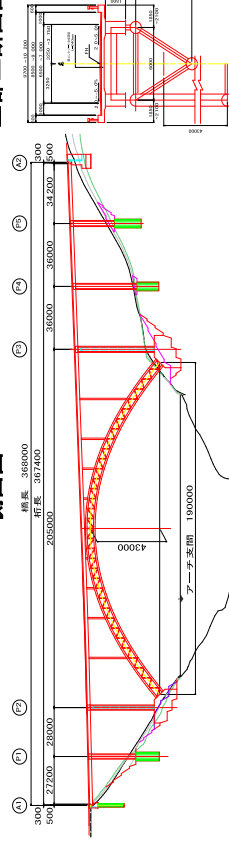
利賀ダム庄川橋梁上部工事

工事概要

- 工事名 利賀ダム庄川橋梁上部工事
- 工事箇所 富山県南砺市利賀村栃原～長崎地先
- 工期 (自)平成26年12月12日
(至)平成30年12月20日
- 橋長 368.0m
- 鋼重 1,725t
- 有効幅員 8.5m
- 橋種 鋼上路式アーチ橋
- 支間長 27.2+28.0+205.0+36.0+36.0+34.2m



側面図

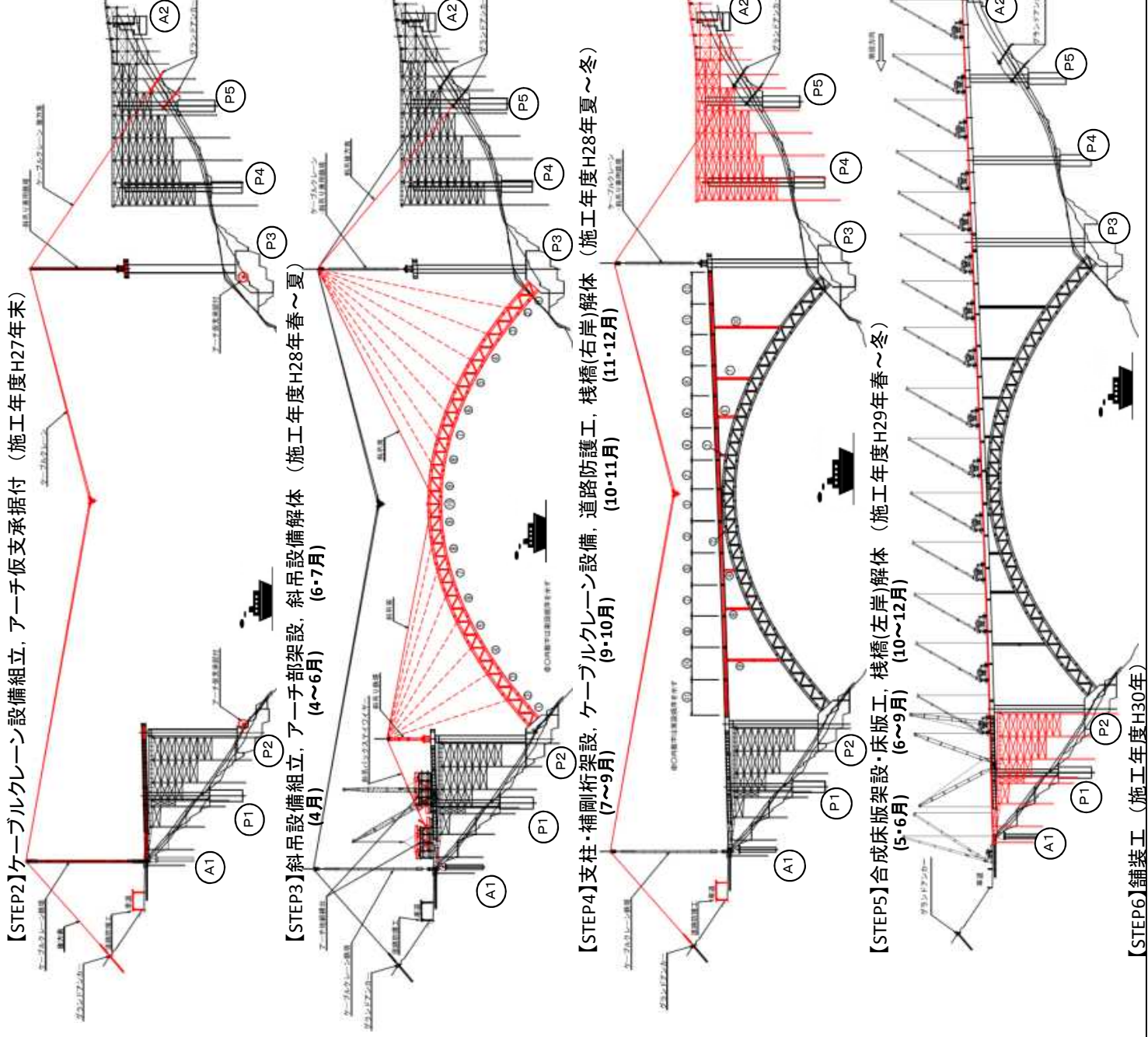


位置図



施工方法

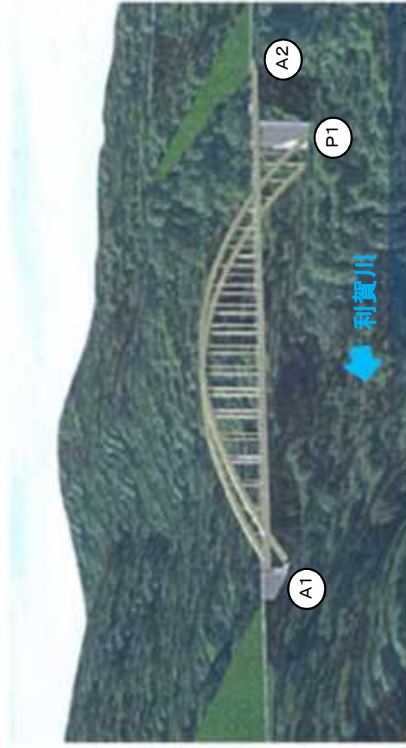
平成28年1月時点の予定工程



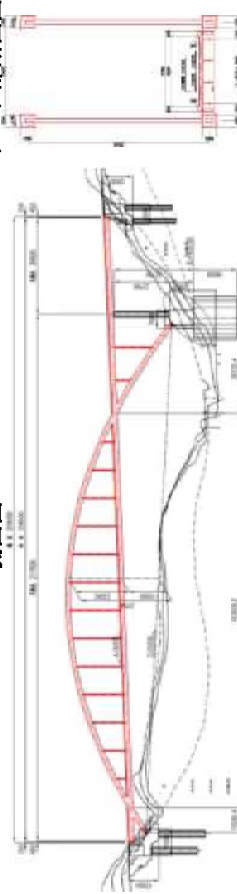
利賀ダム豆谷橋梁上部その2工事

工事概要

- 工事名 利賀ダム豆谷橋梁上部その2工事
- 工事箇所 富山県南砺市利賀村大豆谷地先
- 工期 (自)平成26年12月23日
(至)平成30年 7月31日
- 橋長 259.0m
- 鋼重 2,521.6t
- 有効幅員 8.5m
- 橋種 鋼中路式ローゼアーチ橋
- 支間長 217.8+39.8m



側面図



アーチ部断面図



位置図

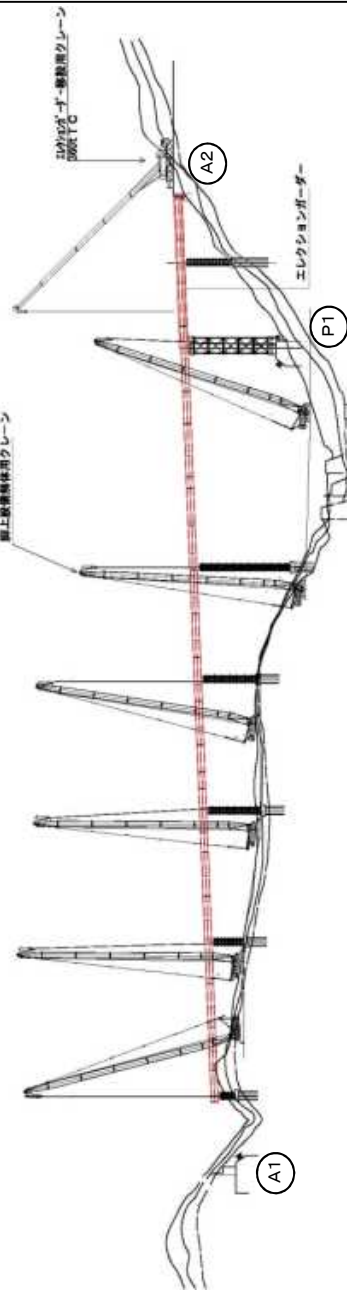


豆谷橋梁上部その2工事(H26~30)

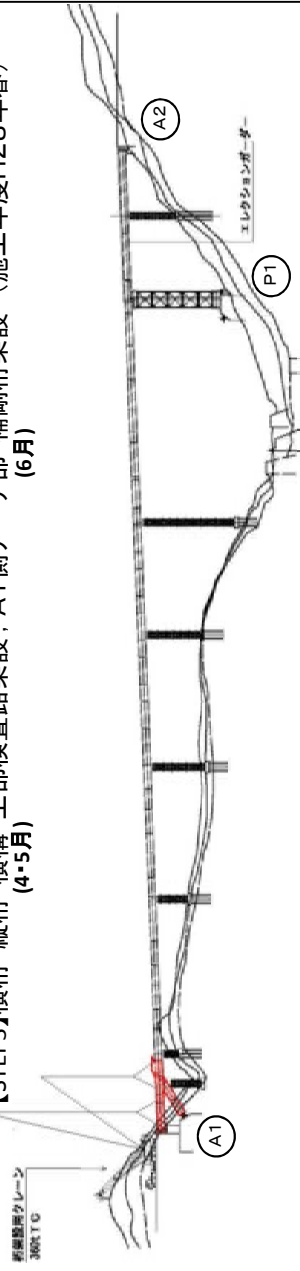
施工方法

平成28年1月時点の予定工程

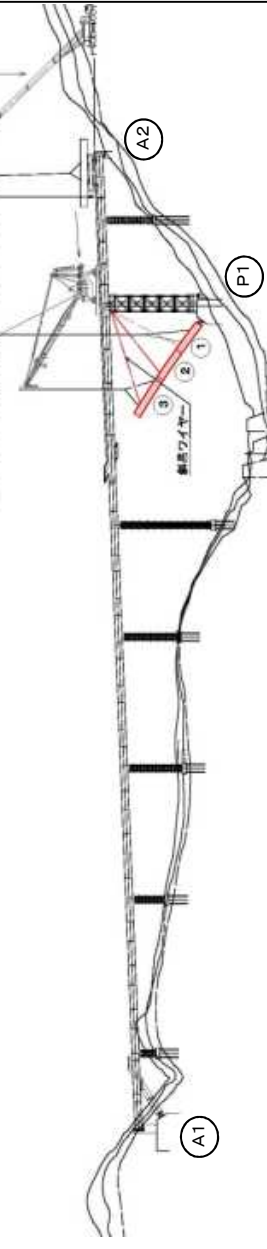
【STEP2】ベント設備組立, 補剛桁送出し架設 (施工年度H27年末)



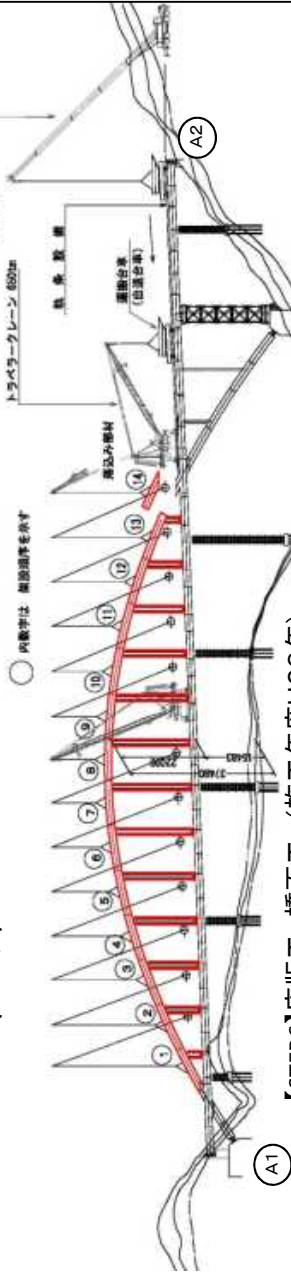
【STEP3】横桁・縦桁・横構・上部検査路架設, A1側アーチ部・補剛桁架設 (施工年度H28年春)
(4~5月) (6月)



【STEP4】P1側アーチ部 トラペラクレーン架設 (施工年度H28年夏)
(7~8月)



【STEP5】垂直材・アーチ部 トラペラクレーン架設 (施工年度H28年秋)
(9~11月)



【STEP6】床版工, 橋面工 (施工年度H29年)

【STEP7】舗装工 (施工年度H30年)

平成２８年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：（一社）建設コンサルタンツ協会北陸支部

今年度の取り組みを基にして、継続した次の活動を予定しております。

- ① 建設コンサルタントPR冊子「建設コンサルタントってどんな仕事」を北陸支部管内の建設系大学等９校に配布し、学校からの要望に基づき、「建設コンサルタントの業務」「キャリアプラン」等について説明会を継続して実施する予定
- ② 平成１６年から「社会貢献活動」の一環として、北陸支部管内の小学校、中学校へ「出前講座」のチラシ等を配布し、学校からの依頼に基づいて出前講演を行っており、平成２８年度も継続して実施する予定
- ③ 北陸支部会員各会社において、平成２８年度もインターンシップの受入れの募集を行い、建設コンサルタント業務などの実習・体験など行ってもらう予定
- ④ 北陸支部主催の「業務・研究発表会」に、今年度と同様に学生からの講演を予定しており、北陸支部管内の建設系の大学等にも聴講案内を行う予定
- ⑤ 今年度、現在制作中の第２弾「建コンPR動画」についても、第１弾同様に行政機関の後援をいただき、チラシ等を北陸支部管内の高等学校に配布する予定
- ⑥ 建設コンサルタントをPRする冊子の整備並びに第３弾の動画製作を予定
- ⑦ 建設コンサルタンツ協会本部が作成した大学生向けリーフレット及びポスターを活用して、関係大学等へ広く広報する予定
- ⑧ 今年度と同様に、学校からの要望に基づいて、講演会や講師の派遣等を行う予定
- ⑨ 今年度と同様に、担い手確保・育成促進協議会、行政機関等と連携して、現場見学会、講師派遣等を行う予定

議題及び報告事項（※自由様式）

協会名：富山県測量設計業協会

件名

平成27年度「担い手確保・育成」関連事業

1. 出前講座 平成27年6月3日（測量の日）
平成12年から「測量の日」の関連行事としてスタートし、国土地理院北陸地方測量部と協力し「地図教室」と「測量実習」を県内の小学校を対象に、「測量」への理解と「地図」への関心を高めるために実施している。
27年度は高岡市立川原小学校の5・6年生を対象に開催した。
2. インフラツーリズム in 関電ルート 平成27年7月22日
27年度新たな事業として、関西電力北陸支社のご協力を得て、さしあたり県内の土木系の高校生に先人の知恵と功績を実際に見てもらい、土木事業へ従事する動機付けとした。
参加学校 富山県立富山工業高校
富山県立桜井高校
3. インターンシップ
協会企業は以前から個別に大学生を対象にインターンシップは実施してきたが、委員会での会議の中で、土木系の高校生や県立大学などでも以前から実施しているとの事で、協会に積極的に受け入れを広報した。
 - (1) 高校生 平成27年7月（夏休み期間）
協会が窓口となり、生徒の近隣の会員企業へ斡旋した。結果的に新規採用に結びついた企業もあった。
 - (2) 大学生 平成27年9月
受け入れ可能企業は、富山県インターンシップ協議会に登録し県立大学の学生を受け入れた。
4. 技術研修会 平成27年11月10日
協会では、会員の技術力の向上を図る目的で技術研修会を開催しており、26年度からは富山県土木部に加え富山県立大学にも講師及び学生の聴講を依頼し、「官」「学」「産」と連携した取り組みを実施している。

※28年度も同様のメニューで活動予定です。

議題及び報告事項（※自由様式）

富山県

件名

平成 27 年度における担い手確保・育成に向けた取り組み状況について（報告）

要旨

1) 将来の建設業を担う人材の入職・定着・育成

- 1、2 級土木施工管理技士の資格取得や除雪作業に必要な免許取得、トイレ改修などの労働環境改善に要する費用を助成
- 資格取得支援講座（建築施工管理技術、土木施工管理技術検定）、新入社員向け研修、就職直前技能向上研修等、建設人材教育訓練を実施

2) 建設企業が雇用できる環境づくり（公共事業や建設業のイメージアップ）

昨年度までは、情報を広く一般に発信するため、小冊子「とやまの土木」の配付や土木部 Facebook “いいね！とやまの土木” の開設等を実施したが、今年度は将来の担い手である子ども達や、進路に大きな影響力を与える保護者（特に母親）を対象を絞り込んで施策を実施。

- 県政バス教室「富山どぼく発見！ツアー」や、現場見学会に加えて橋の模型製作を体験し、橋づくり技術の理解や面白さを通じて土木への関心を深めてもらう「親子ふれあい見学会」の開催
- 建設業協会と共同・連携し、女性の視点で発掘した建設業の重要性や魅力を PR するためのパンフレットの作成

議題及び報告事項（※自由様式）

事務所名：黒部河川事務所

件名 女性技術者の担い手確保の取り組み提案
富山県部会が主催する「女性技術者と女子学生との意見交換会」の開催

要旨

当事務所では、昨年8月に女性の視点から見た建設業について、女性技術者と女子学生で対談を行ってもらい、女性の立場からの貴重な意見を聞くことができた。

富山河川国道事務所では、一昨年12月に官民の女性技術による意見交換会を開催、昨年は小矢部川で女性技術者が設計・監督・施工について主導権をもって河川工事を行ったり、女子学生に主眼を置いたリクルート活動を実施している。また、富山県建設業協会では、一昨年12月に女性技術者による座談会を開催している。

このように、機関毎に女性技術者の担い手確保・育成の取り組みを実施していることから、次のステップとして官学民が共同して「女性技術者と女子学生との意見交換会」を定期的で開催することについて富山県部会で検討して頂きたい。

開催にあたっては、単に意見交換を行うだけでなく、女子学生に興味を持ってもらうことや女性技術者間の情報交換の場とするため、女性技術者が働く現場の見学や女性技術者の体験談を話してもらうなど工夫することが大切である。また、1回限りで終わらせるのではなく、継続性のある取り組みとするべきである。

※各機関の取り組み内容：別紙参照

議題及び報告事項（※自由様式）

事務所名：利賀ダム工事事務所

<p>件名</p> <p>平成27年度現場見学会アンケート結果について（学生の意識調査）</p>
<p>要旨</p> <p>アンケート回答いただいた学生の意見感想の一部報告</p> <p>（効果があったと思われる回答）</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 去年は工事中の下島大橋を見学させていただきました。まだ橋としてつながっていない上を見学させてもらいとても貴重な体験ができたことを覚えています。その橋は今回は、完成していて、去年と同じ場所なのに違った光景に感じました。一つの橋でも2つの光景がみえ、いろいろな人の苦労を考えるとすごく感動しました。また<u>OBの方のお話もきけて、今すごく将来について悩んでいる私にとってすごく参考になりました。</u> ➤ 利賀ダムの建設現場を見学してとてもタメになることを多く聞いたり見たりしたのでとてもよかったです。このことは<u>自分がもしそのような場所で働くことを思うと、とても大変だと思うけどそれが自分のためになることだと思いました。</u> ➤ 利賀ダムの形など自分の知らなかったことを知ることができておもしろかった。また<u>あまり興味がなかったが今回の見学で建設現場を見学することができてよかった。少し興味がでてきた。</u> ➤ まず、建設現場の大きさに度肝を抜かれました。ダムを建設する事、橋を架ける事がこれほどまでに大きくすばらしい仕事である事を改めて知ることができました。三角トラスを使って作る橋は、<u>僕たちが日ごろからなにについての勉強をしているのかが分かり、今後の勉強をもっとがんばろうと思いました。</u>そして1番記憶に残っているのが500tを持ち上げることができるクレーンがあった現場でした。スケールの大きさを目の当たりにし、感動しました。これから架けると言われていた橋の構造はまだまだ分かりませんが、勉強していきたいと思いました。ありがとうございました。 ➤ 私は、環境都市工学科に入っていながら、そもそもダムというものが何をしているのかとか、ダムの重要性をあまり理解していませんでした。でも、今回の見学で、ダムにも色々種類があって、しかもとても大きいんだ、ということを知って、驚きました。国土交通省の方々がどういう仕事をしているのか、全く知らなかったし、<u>女性の方の話も、将来の事を考えるにあたってとても参考になりました。</u> <p>（当方の改善が必要と考えられる回答）</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 難しい用語があり、理解できなかつた所もあった。 ➤ 説明が聞こえにくかった。 ➤ いきなり質問があるか聞かれても難しい。 ➤ 働いている人の姿が見たかった。 ➤ 見学時間より、移動時間の方が長かった。

議題及び報告事項（※自由様式）

事務所名：伏木富山港湾事務所

件名

移動に伴う費用の負担について

要旨

現場視察時の生徒の移動に伴う「バス」の費用負担について、建設業協会が絡んでいると費用が出るが、それ以外であっても「担い手」関連として費用負担できないか。

.